津田小だより

松江市立津田小学校
令和８年１１月１７日
校長　　小 林 敏 朗

秋が深まる１１月です。少しずつですが気温が下がり、涼しさから寒さに変わってきたなと感じます。本校では、先週あたりから徐々にインフルエンザで欠席する児童が増えてきました。松江市内、島根県内ではインフルエンザによる学級閉鎖の措置をした学校があると聞いています。これから更に寒さが増していきます。日頃から、うがいや手洗い、必要に応じてマスクの着用など取り組んでいきたいものです。また、睡眠、栄養、運動なども日常の中で大切にし、インフルエンザや風邪に負けないようにしていきたいですね。

感動しました！うたごえ広場！

１１月６日（金）、本校体育館で「うたごえ広場」を行いました。当日はお忙しい中、多数の保護者の皆様や地域の皆様にお出かけいただき、ありがとございました。また、各学年の発表が終わると、津田っ子たちに心温まる大きな拍手を送っていただき、ありがとうございました。（下の画像は午前中の様子です。）



１年生



２年生



３年生



４年生



５年生



６年生

津田っ子たちは、「うたごえ広場」本番までがんばって練習に取り組みました。教室での練習から音楽室や体育館での学年練習まで意欲的に取り組んできたと思います。そして、その練習してきた成果を思う存分発揮できた発表が本番の１日（午前も午後も）に凝縮されていたように感じました。また、発表内容も各学年のカラーや個性がしっかりと表現できたように感じました。津田っ子は、どの子も一人一人が力をしっかりもっているなとつくづく痛感し、再認識しました。

午後の部の最初のところで、保護者の皆様や地域の皆様にはお伝えしましたが、私自身この「うたごえ広場」には２つの意味があると思っています。一つ目は、１００人を超える友達と一緒に、力や息、心を合わせて一つの発表、一つの作品を創る経験ができるということです。将来子どもたちがどのような職業に就くのか、どんな社会生活をするのかはわかりませんが、いろいろな人と力を合わせたり、アイデアを出し合ったり、時には違う考えの人と折り合いをつけたりしながら生活していくことと思います。つまり、一人ではなく他者と共に生活していくということです。そういう意味では、１００人を超えるいろいろな他者と協力する、力を合わせる、心を合わせて一つの発表（作品）を創る経験は貴重な、かけがえのないものになると考えています。二つ目は、自分よりも年上の学年の発表を見ながら「すごいな。」とか「自分も５年生や６年生になったらこんなことをしてみたいな。」「こんな楽器をしてみたいな。」と「憧れをもつ場」ということです。近い未来の自分の姿をイメージするということです。子どもたちにとって、この憧れをもつということは自分自身を成長させるためのとても大きなエネルギーになると考えています。また、逆に年下の学年の発表を見て「〇年生の頃は～だったのに、今はこんなこともできるようになった。」「できることが増えたな。」などと今の自分の成長を感じることにもなると思います。これら２つの意味は、本校の経営方針の一つである「自己肯定感」を高めることにつながることと考えています。

最後になりましたが、６日（金）の駐車場のお世話、保護者の皆様の誘導から最後の片付けまで、運営にご協力いただきました PTA 役員の皆様、大変お世話になりました。おかげさまで、スムーズに運営をすることができました。本当にありがとうございました。

「聞く」から「聴く」へ

津田小学校の子どもたちのいいなと思うことの一つに、始業式や終業式など全校児童が集まるときに静かに集合・整列できること、そして人の話を静かに聞くことがあります。これは素晴らしいことです。授業を見ながら校舎内を歩いている時も静かに聞いている児童がほとんどです。ただ、時々本当に伝わっているのかな、言われたことを理解しているのかなと思うこともあります。話の音や音声は聞いていると思いますが、次に自分たちが考えることや取り組むことなどがイメージできているか、友達はどういう考えや思いを伝えようとしているのかなど、自分の頭で考えながら聴くことができているかなと思うことがあります。最近よく思うことは、津田小学校の児童を更に伸ばすために「聞く」から「聴く」へ成長を促したいということです。「聴」の漢字には「耳」「目」「心」があります。耳で聞く、目で聞く、心で聞く。これらの中には「あなたの言うことをちゃんと聴いていますよ。」「あなたの言っていることは受け止めましたよ。」「あなたのことを大切にしていますよ。」という思いが含まれていると考えています。今月１１月は、本校では「人権月間」として取り組んでいます。日頃の学習や学校生活の中で、まずは人の話を静かに聞くこと、そして相手の伝えたい考えや思いまで考えて聴くこと、相手を大切にすることなど、こういうところからしっかりと取り組んでいきたいと思っています。



11 月 12 日（木）5 年生の算数の様子です。多くの児童が電子黒板の前で発表する子にしっかりと目を向けて聴いています。